

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月3日
八戸学院聖アンナ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・自分の考えを持てる子
- ・心の豊かな子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育の充実を図りながら地域との連携にも努める。
- ・子どもの運動についての研究に着手し環境を整える。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	モンテッソーリ教育の充実	B	一人一人の状態を把握し個に適した教育の実践に努め、自然・実体験を重視して取り組んだ。
2	子どもの育ちに合った運動環境への取り組み	A	短大と共同で運動環境の研究に着手した。現状と不足部分を把握した上で、環境改善に取り組んでいる。
3	地域との連携	B	近隣の小学校との連携に努め架け橋プログラムの作成にも注力した。マタニティサロン等新たな試みも行い“はじめの100か月”重視の啓蒙に努めた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	評価項目について重点的に取り組んできた結果、教育内容・研究面では大きな成果が見られた。一方で、地域との連携では発信力の弱さが未だ見られるなどの課題も残った。一番の柱であるモンテッソーリ教育の充実では、今後も引き続き教職員の質の向上を目指し取り組んでいく必要がある。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	モンテッソーリ教育	園内外の研修に参加し教員一人一人がスキルアップに努めつつ、保育環境の改善を図る。
2	運動環境	研究活動を継続し、子どもの育ちに合ったより良い運動環境の整備に努める。(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催の幼児教育実践学会で研究発表を行う。
3	地域との連携	研修会や地区会などで幼保こ小が情報共有したり共に学び合い、地域全体で子どもを育てる流れ作りを図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

モンテッソーリ教育に尽力し子ども一人一人を大切に育てている様子がよく理解できた。運動環境に関する研究が興味深く今後を楽しみにしている。研究では運動を切り口としているものの、研究内容からは先生方の『子どもたちのよりよい成長のため』という願いを感じ取ることができる。地域に愛され、選ばれる幼稚園であるよう努力を続けていって欲しいと願っている。来園者の立場として、万が一災害があった時のために来園者も手に取ることでできる「緊急ガイド」のような物の設置を検討していただきたい。